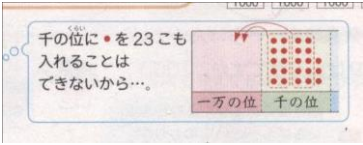


平成30年度 算数科授業の略案 (3学年)

月日 (4校時)	単元名	教材名
9月6日 (金) 3校時	大きい数のしくみ	10000 より大きい数を調べよう
本時のねらい (本時 4 / 10) ○一万を超える数の相対的な大きさについて理解を深める。		
評価規準 考 一万を超える数を、1000を単位として相対的な大きさでとらえ、説明することができる。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 10:35	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 問題提示 10:37 課題把握 ・問いの共有 10:40 10:45 ・シラバス ・言語わざ ・キーワード 自力解決 集団解決 ・班学習 ・全体学習 10:59 ・考察 11:05 まとめ 11:07	1 問題を読む。 1000を23こ集めた数はいくつですか。 ○問題を見て分かっていることや聞かれていること、気づいたことはありませんか。 ・今日の問題は数をもとめる問題です。 ・1000のまとまりで考えるとできそう。 ・1000が23こ集まると一万をこえそうだ。 2 課題を把握する。 10000をこえる数の大きさは何をもとに考えるとよいか図や言葉を使って説明しよう。 (一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り・適用問題(8分)) 「つまりや~ですよねを使って説明する」 一万の位 千の位 3 1000を23こ集めた数の求め方を考える。 ○図や言葉を使って、1000を23こ集めた数のもとめ方を考えて下さい。  4 考えたことを説明する。 ○でてきた意見をみて気づいたことを発表して下さい。 ・1000が10こあつまると一万になる。一万が2個あるので二万と表すことができる。千の位に3個あまるので答えは23000です。 ・1000の数の千の位の1を23にかえると23000という答えを求めることができる。 ○今日の問題から1000の数が23こではなくこ数が変わっても同じように求めるためにはどのように求めたらよいですか。 ・1000が10こで一万、それがいくつあるかを考えると一万の位の数が分かる。残りの千の位の数をたすと簡単に求めることができる。 10000をこえる数の大きさは1000が何こあるかを考えると分かりやすい。	・実際に千円札を用意し、いくらになるか考えさせることで、生活と結びつけて考えるようにする。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが立つようにする。*リーダー ・答えだけを求めるのではなく、図や言葉を使って1000が23こ集まると23000になる根拠を説明するように伝える。 ・図と言語を合わせて説明することで10こ集まると一万になることを視覚的にとらえさせる。 ・ 考 一万をこえる数を、1000を単位として相対的な大きさでとらえ、説明することができる。(ノート・発言)
【終末】 ふりかえり 適用問題 11:20	5 学習したことを振り返る。 6 適用問題に取り組む。P85 △5または4	